

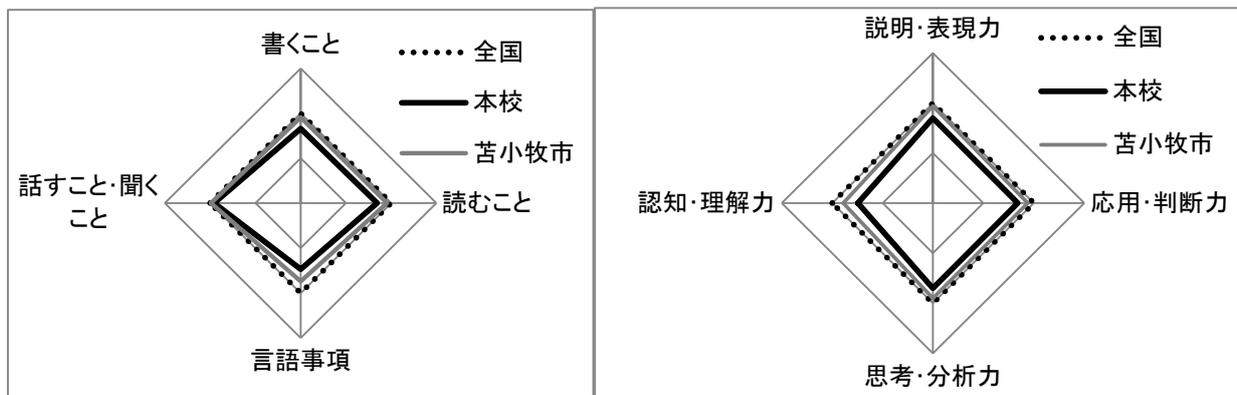
1 検査の概要

- (1) 実施日
令和元年4月18日(木)
- (2) 調査対象
市内小学校 第4学年
- (3) 検査内容等
 - ① 国語科及び算数科の2教科の学力検査を実施(出題範囲は前学年の学習内容)
 - ② 全国学力調査(集団準拠評価)を実施

2 本校の結果と考察

(1) 国語科

① 領域別(※2)及び能力別(※3)の偏差値SS(※1)における全国との比較



② 考察

- ・偏差値平均は全国より低い。
- ・領域別は、全国値に比べて、「話すこと・聞くこと」は同等で、「言語事項」「読むこと」「書くこと」は下回っています。
- ・能力別は、全国値に比べて、全ての項目で下回っています。

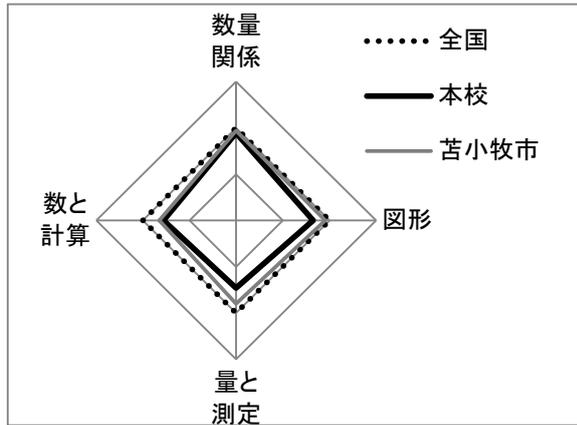
③ 今後の取り組み

- ・朝学習や宿題、他教科や日常生活の中で漢字を使って書く活動を取り入れ、使えるようになるまで反復練習をさせます。
- ・日常の授業の中で、段落を正しく使ったり、主語と述語を意識してわかりやすい文章にする練習をさせます。
- ・今後も授業の工夫、改善に取り組み、児童の更なる学力向上を目指します。

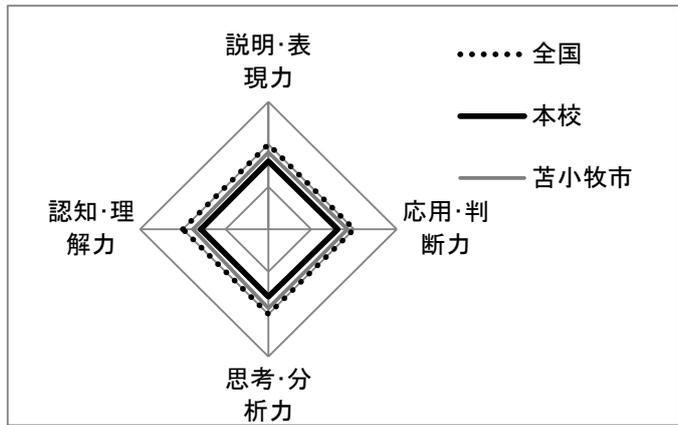
(2) 算数科

① 領域別 (※2) 及び能力別 (※3) の偏差値 S S (※1) における全国との比較

【領域別】



【能力別】



② 考察

- ・偏差値平均は全国より低い。
- ・能力別は全国値に比べ、「数量関係」は同等で、「量と測定」「図形」「数と計算」は下回っています。
- ・能力別は全国値に比べ、全ての項目で下回っています。

③ 今後の取り組み

- ・日常の授業では習熟度別指導を中心に、個に応じたより細やかな指導を行っていきます。
- ・日常の授業だけでなく、朝学習や宿題、家庭学習などを通し、3年生で学習した内容の定期的な反復練習を行い、基礎基本の徹底をはかります。
- ・筋道立てて説明する力を付けるために、教科書の「～を説明しましょう」という問題に積極的に取り組ませる。
- ・今後も授業の工夫、改善に取り組み、児童の更なる学力向上を目指します。

※1 【国語】学習指導要領が示す学習内容のまとまり（話すこと・聞くこと・言語事項・読むこと・書くこと）に基づいた学力

【算数】学習指導要領が示す学習内容のまとまり（数と計算・量と測定・図形・数量関係）に基づいた学力

※2 目標標準評価における「観点」に対応する視点から設定した学力

- 認知理解力：児童・生徒がもっている知識（情報）量とその情報に基づいて単純に判断する力や処理する能力
- 思考分析力：課題に応じて知識を関連付けながら推論して判断する基本的な力
- 応用判断力：「思考分析力」を更に発展させ、より多くの情報や条件に基づいて、総合的に推論・判断し、問題解決する力
- 説明表現力：上記の3つの能力によって導いた結論や考えを第三者に正確に、あるいは分かりやすく説明する力

※3 全国平均を50として、全体を比較し、どの水準にあるかを示す。